

## 平成28年度全国学力・学習状況調査分析結果及び今後の取り組みについて

この調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行われているものです。我孫子中学校では下記のように分析し、教育の充実に取り組んでまいります。

### 1. 我孫子中学校の結果について

2教科（国語・数学）ともに全国平均、県平均を越えています。今年度は我孫子中学校の特徴として、次のような点が読み取れました。

- ＜国語＞ ・漢字の読みはできているが、文脈に即した漢字の書き取りに課題があり、無回答率が高い。
- ・知識に関する問題では、文字の形や大きさ配列に注意して書くこと、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに優れているが、漢字が表している意味を正しく捉えることに課題がある。
- ・活用問題では、文章の構成を捉えることに優れているが、文と文の意味のつながりを考えながら内容を整理して書いたり、自分の言葉でまとめて書くことに課題がある。
- ＜数学＞ ・「数と式・図形」の問題は正答率が高いが、「関数・資料の活用」の問題には課題が見られる。
- ・数学では特に計算問題、図形の性質などの問題は正答率が高いが、作図の方法、比例・反比例などの数量の関係、資料の活用の問題は正答率が低く、課題が見られる。
- ・活用問題では、与えられた情報から必要な情報を選択・処理することはよくできているが、理由を説明・証明することに課題がある。
- ＜質問紙＞ ・「復習」「宿題」や自分で計画を立てて家庭学習することについてはあまりできていない。
- ・「学校に行くのは楽しい」と感じている生徒が多いが、「学校の規則を守っている」と答えた生徒がやや少ない。
- ・「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」という生徒がやや少ない。
- ・「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」と考える生徒が昨年度より多くなっている。

### 2. 我孫子中学校の取り組みについて

昨年度より、我孫子中学校は我孫子市から学力向上研究推進事業「アクティブ・ラーニング研究指定校」、千葉県から「新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト」の研究指定を受けております。授業が生徒の主体的な学びの場となるように次の点に重点を置き取り組んでいます。

- ① 協働的に「学びを深める」手立てと単元指導計画の在り方
- ② 他教科から学び、自分の教科の実践に活かすこと
- ③ 個人による学習の振り返り（まとめ）を取り入れて自律的学習者を育てること

前述の結果の課題となる点に焦点をあてながら、「授業の充実」「学力向上」に取り組んでいきます。ご家庭でも「家庭学習の充実」にご協力をお願いいたします。